

科目名	Course Title		
地質学特論 (Geology)			
学科・専攻	Department/Program	受講年次	Grade
地球惑星科学科		3年	
授業形態	Class style	必修・選択の別	Compulsory or Elective
講義		選択	
時間割コード	Registration code	開講期・曜日・時限	Semester, Day & Period
0662210		秋学期 火曜：2時限	
単位数	Credit	科目区分	Course type
2		専門科目	
担当教員	Instructor	竹内 誠	
所属研究室	Laboratory	地質・地球生物学講座	
連絡先	Contact	052-789-2525 takeuchi@eps.nagoya-u.ac.jp	
居室	Room	理学部E館442	

講義の目的とねらい	Course purpose
<p>複雑な日本列島の地質が、どのように区分され、各地帯がどのような地質からなるか日本の地質の基礎を学ぶ。各地質帯の情報からどのような地質現象が明らかになるのかを考える力をつける。最終的に日本列島の地質がプレート運動とどのように関係して形成されたかを理解する。</p>	
履修要件	Prerequisite
特になし	
履修取り下げについて	Course withdrawal
<p>&lt;可否&gt; 可能 &lt;条件&gt; 取り下げ届を提出していない学生についても、出席状況等を総合的に判断して欠席とする場合もある。</p>	
成績評価	Grading
授業への取り組み状況及びレポートにより判定	
不可 (F) と欠席の基準	Criteria for "Absent" & "Fail" grades
欠席が1/3以上の場合、欠席とする。また出席数を満たしてもレポート未提出や内容が基準以下の場合、不可とする。	
関連する科目	Related courses
地質構造発達史には地質学のすべての分野の内容が関係するので、地質系の講義や実験は履修し、理解しておくことが望ましい。	
他学科学生の聴講について	About attend other

<可否> 可能 <条件>
教室 Class room
E127

授業内容 Content
1. 日本列島を中心とする東アジアの地質と日本列島の地体構造区分を概観 2. 付加体の地質（ペルム紀・ジュラ紀・白亜紀付加体） 3. 大陸縁辺部の地質（南部北上帯・舞鶴帯・飛騨外縁帯・黒瀬川帯など） 4. 中生代以前の地質構造発達史（堆積学から） 5. 変成系列の基本とバロ型変成作用 6. 日本の変成帯 1（飛騨帯・領家帯・日高などHigh T/P変成作用） 7. 日本の変成帯 2（三波川帯・神居古潭帯などHigh P/T変成作用） 8. 日本の火成岩類（深成岩類・火山岩類） 9. 日本海拡大期の日本列島 10. 伊豆・小笠原弧の衝突 11. 沖縄トラフの形成と琉球列島の成立 12. 古琵琶湖層群および東海層群

教科書 Textbook
特になし
参考書 Recommended reading
講義の中で、随時紹介する。
連絡方法 Contact method
その他 Remarks